

2008年6月20日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

目黒線の架線トラブルについて

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、架線トラブルが発生したため、15時45分から目黒線全線で運転を見合わせておりましたが、18時31分に全列車各駅停車で運転を再開しました。詳細につきまして以下のとおりお知らせいたします。

お客さま、関係各位にはご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。

1. 発生日時 2008年6月20日（金）14時53分頃

2. 発生場所 目黒線上り線 洗足駅～西小山駅間（西小山駅手前50m付近）

3. 状況

14時53分頃、洗足駅～西小山駅間を走行中の、上り急行列車（武蔵小杉発浦和美園行、6両編成）のパンタグラフが全て降下するという事象が発生しました。同列車は、そのまま武蔵小山駅まで走行し、パンタグラフを上昇させて運転を継続しました。

その後、15時22分頃と15時30分頃にも同様の事象が確認されたため、15時45分から全線（武蔵小杉～目黒）で運転を見合わせ、当該区間の点検を行いました。

18時10分に当該箇所を復旧しました。

18時31分に西小山駅に停車していた列車が運転を再開しました。その後順次、全列車各駅停車・目黒駅折り返しで運転を再開しました。

4. 運転状況

15時45分 目黒線全線（武蔵小杉～目黒）で運転見合わせ

15時50分 東急線全線、JR山手線全線、JR京浜東北線全線、JR横浜線全線、JR南武線全線、JR中央線（東京～八王子間）、東京メトロ全線、都営地下鉄全線、小田急線全線、京急線全線、相鉄線全線、りんかい線全線、東急バス全路線、都営バス（東京～等々力）への振り替え輸送を開始

18時31分 西小山駅に停車していた列車が運転を再開。その後順次、全列車各駅停車・目黒折り返しで運転再開。

19時15分 地下鉄線（東京メトロ南北線・都営三田線）との相互直通運転を再開

5. 原因と対応

当該区間の点検を行った結果、西小山駅から洗足駅方面へ約50mの地点で、架線が約1センチ下がっていることが確認されました。この部分に電車のパンタグラフが接触し、降下したものと推定されます。当該箇所の復旧作業を行い、架線の位置を本来の高さに戻しました。

6. 影響人員 52,500人

7. 運休本数 87本（上り44本、下り43本）

以上